

2025 新春のごあいさつ

神戸町長 藤井 弘之



あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に輝く新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から町政運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、元日早々の最大震度7を記録した「能登半島地震」のほか、全国各地で自然災害が相次ぎました。町においても、8月末の台風10号による大雨の影響で町内を流れる奥川の溢水により、初めて「避難指示」を発令いたしました。日頃から災害への備えが重要であると強く認識したところです。

さて、町では人口減少対策を政策の柱として掲げ、子育て、教育、都市基盤整備等各分野を推進することにより、“子育てしやすい”と実感できるまちづくりを進めています。平成23年に開館した子育て支援センター「おひさま」は、昨年10月、来場者20万人を超え毎日多くの子どもたちで賑わっています。町では、これまで以上に多くの子育て世代に愛される施設としてご活用いただけるよう、この施設を幅広い年代が集う「児童館」として今年7月ごろの完成を目指して、新たに整備を進めています。

一方、地域経済の活性化を図るため、東海環状自動車道を活かしたまちづくりを重点プロジェクトとして、大野神戸IC南側を市街化区域に編入し企業誘致にも力を入れており、昨年11月には誘致企業2社目となる大手イタリアンファミリーレストラン工場の進出が決まるなど順調に企業立地を進めています。全線開通を見据え、これを絶好の機会と捉え、産業・観光など、あらゆる分野の活性化を目指したまちづくりを進めてまいります。

令和7年におきましても、町民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、心に寄り添いながら、「住み続けたいまち ごと」を創るべく、職員一丸となって町政運営を進めていきたいと考えています。皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに新年が皆様にとりまして、笑顔あふれる希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。